ささえあう地域福祉の情報紙

足立社協ホームページ　公式facebook　ささえあいブログ　ボラセン公式LINE

あだち社協 3

March 2022 No.67

特集 災害ボランティア 災害時に備えた 顔の見える関係づくり ……P1～3
まちの根っこわーく ……P4
INFORMATION ……P4
●声／ささえあいクイズ

特集 災害ボランティア

災害時に備えた 顔の見える関係づくり

詳しくは▶2、3面

▲災害ボランティアに登録いただいた第一生命保険株式会社の皆さん。災害ボランティア活動に必要なスコップ等を東京足立ロータリークラブより寄贈いただきました。

社会福祉法人 足立区社会福祉協議会　〒120-0011 足立区中央本町1−17−1　足立区役所南館11階　TEL 3880-5740　FAX 3880-5697

社会福祉協議会は、地域の皆さまとともに、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり（地域福祉）を目指して活動している民間の非営利団体です。

足立社協キャラクター 大樹と小枝

特集 災害ボランティア

災害時に備えた顔の見える関係づくり

第一生命保険株式会社

社員75名が災害ボランティアに登録

竹の塚、西新井、花畑にある営業所の社員75名の皆さんに災害ボランティアに登録していただきました。

野矢 基さん
第一生命保険株式会社
上野総合支社足立ブロック長

地域課題に協働で取り組みます

災害や貧困など、私たちの企業活動と足立区社会福祉協議会(以下足立社協)の課題には共通点があります。これまでも子ども食堂へのサポートなど地域の皆さんと協働で地域の課題に取り組んできました。

また、区の災害対策セミナーに参加したり、ハザードマップを届けたり、防災の面でも地域に貢献できるよう取り組んでいます。

東京足立ロータリークラブ

活動のための資機材を寄贈

東京足立ロータリークラブは会員企業23社からなる奉仕活動団体です。2020年（写真上）、2021年（写真下）の2年間で、災害ボランティア活動に必要な資機材（250万円相当）を寄贈していただきました。

市川慎次郎さん
東京足立ロータリークラブ
災害資機材寄贈プロジェクト実行委員長（株式会社横引シャッター代表取締役）

足立をもっと良くしていきたい

東京足立ロータリークラブは昨年11月で45周年を迎えました。若手のメンバーが増えて、地域の課題を解決できる継続的な奉仕活動はないかと、足立社協に相談したことが、災害資機材寄贈のきっかけです。

「足立をもっと良くしていきたい」皆さんが手を組んで、1つ動いたら、2つ3つと波及していくような活動をこれからもしていきたいと思います。

足立成和信用金庫

災害資機材の保管場所として大型倉庫を提供

災害ボランティア活動に必要な災害資機材等の保管場所として、大型倉庫（2階建て 204平方メートル）を無償で貸与いただきました。

信金だからこそできることで地域を応援したい

私たち足立成和信用金庫のキャッチフレーズ、「地域応援!“おせっかい宣言”」の言葉どおり、地域貢献の活動に力を入れています。区内数か所に防災備蓄倉庫を設置し、地域の皆さんと合同で防災訓練も実施しています。

災害時に支援の必要な高齢者や障がい者をサポートできるよう、普段から地域と顔の見える関係づくりができることが私たち信金の強みだと思っています。

吉田修さん
足立成和信用金庫
地域応援推進担当課長

足立昌昭さん
足立成和信用金庫
総務部副部長

J:COM 足立

災害ボランティア募集の呼びかけをお手伝い

災害ボランティア募集の呼びかけを社内や、番組内で放送するニュースで取り上げていただきました。

地域メディアとしての使命を果たしたい

地元の企業として、平常時から足立区に災害が発生したときに企業として何が出来るかを考えていきたいです。

また、今後は地域メディアとして、足立区の皆さんに災害時に必要な情報を発信する体制を整えていきます。

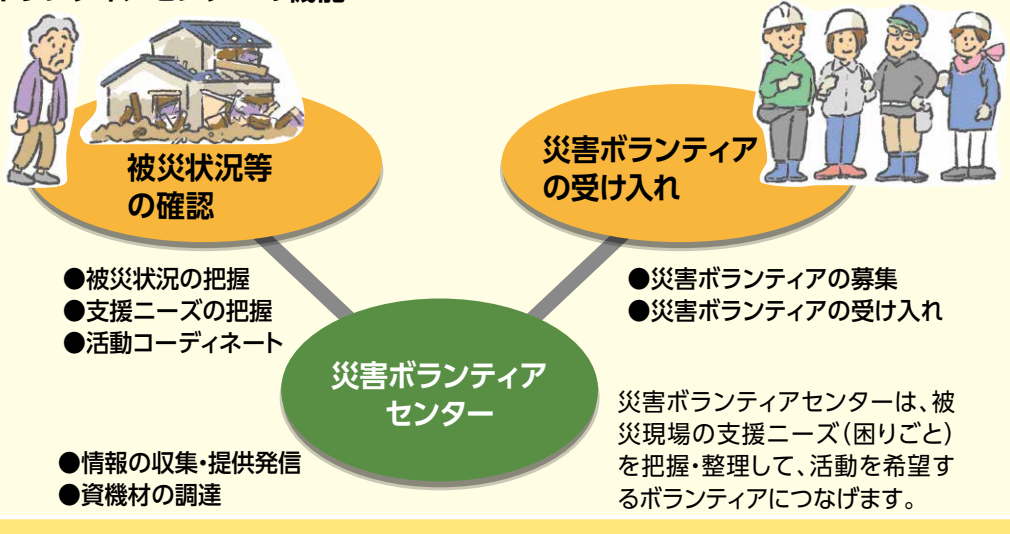
渡邊 昌利さん　J:COM 足立（株式会社ジェイコム東京）管理部マネージャー
（写真前列右から1番目）

災害ボランティアセンター運営マニュアルを改訂しました

足立区が大規模な災害に見舞われた際、区と足立社協が連携して災害ボランティアセンターを設置します。運営マニュアルは、災害発生からセンター立ち上げまでの流れや具体的な運営方法をまとめたものです。

今回、風水害や感染症に対応した内容に改訂しました。また、災害の規模や条件によって、運営方針を柔軟に変えられるようにしたことが、改訂の大きなポイントです。

災害ボランティアセンターの機能



足立社協では、災害発生時に災害ボランティアが復旧や復興の活動に力を発揮できるよう、日頃からネットワークづくりを進めています。NPO、企業、地域団体、個人の皆さん、そして足立社協職員が、それぞれの専門性を活かし、連携して地域防災に取り組んでいる事例をご紹介します。

アマチュア無線技士・防災介助士

災害時のコミュニケーションを支えます

「無線と防災」というテーマで講座を開催しています。アマチュア無線は東日本大震災でも活躍しました。福島のアマチュア無線局がリーダーとなって、現地に必要なものは何か等、伝達手段として活用されました。

▲デジタル簡易無線機の使い方を説明する塩野さん

無線を活用して助け合いのネットワークづくり

スマホや固定電話での連絡が取れないような災害現場では、無線が災害ボランティアの活動にたいへん役立ちます。

地域で体の不自由な方を、災害時に無線を使うことで助け合うことができるよう、これから地域で災害が起きたときのネットワークをつくりたいと思っています。

塩野喜久雄さん
第二級アマチュア無線技士
第二級陸上特殊無線技士
防災介助士

足立社協職員災害対策チーム

災害ボランティアセンターを運営

職員災害対策チームは、近隣の自治体が被災したときに現場へ行き活動したり、足立区が被災した際は災害ボランティアセンターの設置・運営を担います。

今年度は、研修の企画や災害ボランティア運営マニュアルの見直しに携わりました。

災害弱者の力になりたい

鹿沼市や常総市の水害の際、災害ボランティアセンターの応援を経験しました。運営が的確に行われていたことが印象的で、ノウハウをもった人がリーダーシップを取ることの重要性を知りました。

「ボランティアに来て欲しい」と、自ら発信ができない災害弱者の皆さんに、支援がつながるようなことに力を入れたいと思っています。

山本武史　足立社協職員災害対策チーム リーダー（写真前列中央）

鹿沼市社会福祉協議会

災害ボランティアセンターの立ち上げの経験やノウハウを共有

鹿沼市社会福祉協議会と足立社協とは令和2年（2020年）に災害時相互支援協定を締結しました。

災害時には災害ボランティアセンター設置・運営、資機材の調達など、お互いに支援し合う内容です。平常時には災害ボランティアの育成や職員のスキルアップなど備えの面で、お互いのノウハウを共有するなど協力関係を深めています。

▲2019年の台風19号による水害で被災した鹿沼市を支援するため、登録災害ボランティアを派遣しました。

災害への備えは遠慮せずに相談できる関係づくりから

災害はマニュアルで想定したとおりにはいきません。災害ボランティアに求められることは、日頃からあらゆる仮説を立てて対応できるように、グループで話し合うことだと思います。

まず自分たちができる範囲を知り、目指すところはどこかを想定します。その上で自分たちでは足りないことがあれば、「あの人、こういうの得意だよね」という人を仲間に入れればいいでしょう。遠慮せずに相談できる、顔の見える関係性をつくることが、究極の災害ネットワークづくりだと思います。

柴田貴史さん
鹿沼市社会福祉協議会職員

防災士会

災害ボランティア活動の経験を伝えたい

東日本大震災（2011年）のときには亘理町（宮城県）、2015年の洪水のときには常総市の災害ボランティアに参加しました。

災害の恐ろしさを目のあたりにして、自分の命は自分で守ることの大切さをつくづく感じました。中学校や高校で、自分の体験談や自助と共助の大切さについて講演活動をしています。

茂出木庄一さん
NPO法人足立区日本防災士の会 理事長

災害ボランティア募集中

足立社協では災害ボランティアを募集しています。登録した方には、災害ボランティア研修や防災訓練などの案内のほか、近隣自治体の災害ボランティア受け入れ情報を提供します。

災害ボランティア研修

登録条件
❶ 災害復興活動に協力いただける方
（未成年者については、保護者の同意が必要）
❷ 電子メール等により足立社協と連絡が可能な方

▲登録のご案内

登録方法
専用フォームに必要事項を入力してください。
※登録前に「足立区災害ボランティア登録のご案内」を必ずお読みください。

▲専用フォーム

お問い合わせ　総合ボランティアセンター
TEL 3870-0061　FAX 3870-5900

令和4年度 収支予算案

令和3年度第5回理事会、第3回評議員会に令和4年度事業計画・収支予算案を提出しています。承認を得られた後には、この計画に基づき、皆さまからお預かりした大切な財源を、地域福祉の推進に役立ててまいります。

※詳細は3月中旬頃、理事会・評議員会の決定を経た上で、足立社協ホームページに「令和4年度予算編成のあらまし」を掲載する予定です。

おもな使いみち　（単位：千円）

社会福祉事業	法人運営事業	463,091
	地域福祉事業	37,872
	ボランティア活動推進事業	7,301
	助成事業	4,748
	生活福祉資金貸付事業	42,670
	福祉サービス利用援助事業	27,418
	障がい福祉サービス事業	46,371
	歳末たすけあい運動事業	1,841
公益事業	基幹地域包括支援センター事業	218,712
	地域包括支援センター関原事業	75,141
	受託事業	75,821
	障がい者保護雇用清掃事業	83,135
合　計		1,084,121

まちの根っこわーく

地域に根ざした、人と人とをつなぐ活躍を紹介します。

歌と踊りでメリークリスマス!

あだちサンタウォーク実行委員会

リヤカーでクリスマスプレゼントをお届け

「おうちdeサンタウォーク」の投稿動画

おうちdeサンタウォーク

あだちサンタウォーク実行委員会が主催する、チャリティーイベント「あだちサンタウォーク」は今回で５回目を迎えました。参加費は全額、遺児家庭やひとり親家庭などの子どもたちへのクリスマスプレゼントとして使われます。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、街歩きイベントは中止し、それぞれのご家庭でサンタの衣装を身にまとい、歌や踊りを披露し、その様子を動画で投稿していただく「おうちdeサンタウォーク」という企画で開催しました。

クリスマスプレゼントを渡す様子

ひとりでも多くの子どもたちに笑顔を

今年度は、更なる支援の輪を広げていくために、地元企業に広く協賛金への協力を呼びかけ（協賛企業４２社）、足立区NPO活動支援センターを通して、子ども食堂やフードパントリーなどを行う２０の団体に協賛品と足立区内共通商品券をお渡しし、計５００名以上の子どもたちにクリスマスプレゼントが届けられました。

また、東京足立ロータリークラブ様から寄贈いただいた災害資機材のリヤカーを活用して、あだちサンタウォーク特別便を運行。沿道からは「サンタさんだ！」「どこ向かってるの？」といった声が。参加したボランティアさんは「子どもたちの喜ぶ笑顔にとても癒されました」「また来年度も参加したいです」と話されていました。

INFORMATION

ボランティア応援ポイント事業（U29対象）

ポイントを集めてボランティアを楽しもう!

オリンピック・パラリンピック教育の理念を継続して推進していくために「ボランティア応援ポイント事業」を創設しました。若い方がボランティア活動に積極的に参加することで、足立のひともまちも、元気になることを目指していきます。

『ボランティあだち』（ボランティア募集情報）に掲載のボランティア活動に参加して集めたポイントは、足立区内共通商品券（１０ポイント５００円）と交換することができます。

1 事前登録 ……▶

ボランティア登録
LINEに友だち登録
ポイントカード取得

2 ボランティア活動 ……▶

毎月配信するボランティア募集情報から希望する活動を選びます。

3 ポイントゲット！

活動後に、活動先からポイントを取得します。

対象

足立区総合ボランティアセンターにボランティア登録をしている３０歳未満の方

※３０歳以上の方もポイントを集めること（足立区内共通商品券交換不可）はできます。
１０年間継続して、毎年１０ポイント以上取得すると感謝状が贈呈されます。

詳しくは…

ボランティア応援ポイント事業の詳細はこちら▶

問い合わせ 総合ボランティアセンター
TEL 3870-0061　FAX 3870-5900

令和3年度 歳末たすけあい運動事業報告

募金額 **8,013,001円**

「歳末たすけあい運動※」とは各区市町村社会福祉協議会が主体となり、毎年12月に行われています。区内で集まった募金は「おはよう訪問事業（ひとり暮らし高齢者安否確認事業）」「ボランティア育成事業」「ふれあいサロン支援事業」等の地域福祉事業に活用させていただいています。

※戦後の混乱期に、市民のたすけあいの精神により、生活困窮する人々に対する物資の持ち寄り運動として始まり、今日に至っています。

ささえあいクイズ ○○ボランティア

○○に入ることばは？

ヒントは1面にあります。はがきまたはホームページ専用フォームより、答え、住所、氏名、年齢、感想を記入のうえ、お申し込みください。

抽選で30名様に、だいき&こえだオリジナルキャラクターグッズを差し上げます。4月30日（土）当日消印有効。発表は発送をもってかえさせていただきます。

あなたのご意見・ご感想をお待ちしています

クイズの応募先 ……▶

〒120-0011 足立区中央本町1-17-1
足立区社会福祉協議会 企画経営課

声

66号（令和3年12月号）「特集：元気が出る掲示板」を読んで…。

●皆様の元気（メッセージ）が勉強になりました。①運動（散歩、ラジオ体操、ストレッチ、筋トレ）②食事（栄養バランスを考える。一日三食、きちんと食事）③趣味（釣り、囲碁、ボランティア活動、ダンス、楽器）私も実践していますが、最後の笑顔、感謝を心がけていきたいです。
（足立区梅島　Oさん）

●足立区が、性別、年齢、国籍などにかかわらず誰もが活き活きと暮らせるやさしい街になって欲しいと思いました。
（足立区千住柳町　Sさん）

●たくさんの活躍をされているみなさんはすばらしいです。知っている方が2人載っています。感動で一杯です。
（足立区竹の塚　Hさん）

●自分がこの先、高齢者になった時にいかに元気に過ごせるのか？と沢山ヒントを頂いた気持ちになりました。また、父が来年70歳を迎えるので、福祉の事を知ってもらえる良い機会になりました。
（足立区本木　Tさん）

（原文掲載）

「あだち社協」は、区民事務所や駅の情報スタンドなどに設置しております。必要な方にはお近くの設置場所をご案内しています。企画経営課 TEL 3880-5740

足立社協の講座やイベント情報は、毎月「公社ニューストキメキ」（足立区全戸配布）にも掲載しています。

次回は7月1日発行予定です。